

平成31年度10月期
筑波大学大学院 人間総合科学研究科

博士前期課程 教育学専攻
入学試験問題

専門科目

【共通問題】

【10分野】

受験番号

保 存

平成31年度 筑波大学大学院
人間総合科学研究科 教育学専攻(博士前期課程)
入学試験問題

受験番号	
------	--

専門科目（共通問題）受験上の注意：

- (1) 全員が解答すること。
- (2) 解答は、別紙の清書用原稿用紙に記入すること。
(下書き用原稿用紙は下書きに利用する。)
- (3) 日本語で解答すること。
- (4) 用紙が不足する場合は、裏面を使用しても構わない。
但し、別の用紙を使用することは認めない。

専門科目（共通問題）

(配点 100 点)

次の文は、中央教育審議会による「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について（答申）」（2012（平成24）年8月28日）からの引用である。下線およびかっこ付きの数字は出題者による。

(1)教員になる前の教育は大学、教員になった後の研修は教育委員会という、断絶した役割分担から脱却し、(2)教育委員会と大学との連携・協働により教職生活全体を通じた一体的な改革、学び続ける教員を支援する仕組みを構築する必要がある。 (p. 5)

問1 下線部(1)の問題点について、具体例をあげて説明しなさい。(30点)

問2 下線部(2)の仕組みについて、具体的な施策の例をあげて説明しなさい。(70点)

平成31年度 筑波大学大学院
人間総合科学研究科 教育学専攻(博士前期課程)
入学試験問題

受験番号 ,	
-----------	--

専門科目(分野別)受験上の注意:

- (1) 全員が解答すること。
- (2) 解答は、別紙の清書用原稿用紙に記入すること。
(下書き用原稿用紙は下書きに利用する。)
- (3) 日本語で解答すること。
- (4) 用紙が不足する場合は、裏面を使用しても構わない。
但し、別の用紙を使用することは認めない。

専門科目 (教 育 哲 学 分野)

(配点 100 点)

次の教育哲学に関わる文章を読み、以下の問題に解答せよ。

(著作権法に基づき削除)

※ 出典は問題解答に関わるため情報開示せず(訳は三枝孝弘による[一部改変])。
傍点は原文によるが、下線は出題者による。

問題

- (1) 上の文章を著した人物の教育思想史上の業績について、簡潔に述べなさい。その際、
下線部の書名を必ず入れること。(40点)
- (2) この人物の教育思想が現代の学校教育を考える上でどのような意義を有しているか、
論じなさい。(60点)

※ 清書用原稿用紙には、解答に対応する問題番号を必ず明記すること。

平成31年度 筑波大学大学院
人間総合科学研究科 教育学専攻(博士前期課程)
入学試験問題

受験番号	
------	--

専門科目(分野別)受験上の注意:

- (1) 全員が解答すること。
- (2) 解答は、別紙の清書用原稿用紙に記入すること。
(下書き用原稿用紙は下書きに利用する。)
- (3) 日本語で解答すること。
- (4) 用紙が不足する場合は、裏面を使用しても構わない。
但し、別の用紙を使用することは認めない。

専門科目 (生涯学習・社会教育学 分野)

(配点 100 点)

問. 次の人物および用語について、説明しなさい。

- ① 寺中作雄
- ② ポール・ラングラン (Lengrand, P.)
- ③ アンドラゴジー (andragogy)
- ④ 地域学校協働本部事業

平成31年度 筑波大学大学院
人間総合科学研究科 教育学専攻(博士前期課程)
入学試験問題

受験番号	
------	--

専門科目（分野別）受験上の注意：

- (1) 全員が解答すること。
- (2) 解答は、別紙の清書用原稿用紙に記入すること。
(下書き用原稿用紙は下書きに利用する。)
- (3) 日本語で解答すること。
- (4) 用紙が不足する場合は、裏面を使用しても構わない。
但し、別の用紙を使用することは認めない。

専門科目（ 教育制度学 分野）

問 今日のが国における学力向上施策の背景、現状、課題について論述しなさい。

平成31年度 筑波大学大学院
人間総合科学研究科 教育学専攻(博士前期課程)
入学試験問題

受験番号	
------	--

専門科目（分野別）受験上の注意：

- (1) 全員が解答すること。
- (2) 解答は、別紙の清書用原稿用紙に記入すること。
(下書き用原稿用紙は下書きに利用する。)
- (3) 日本語で解答すること。
- (4) 用紙が不足する場合は、裏面を使用しても構わない。
但し、別の用紙を使用することは認めない。

専門科目（ 比較・国際教育学 分野）

(配点 100 点)

問題1

「移動する子ども migrating children」という概念が教育界で使われるようになった背景と概念の意味を説明しなさい。

問題2

「移動する子ども」の教育課題について教育政策と教育実践の側面から論じなさい。

平成31年度 筑波大学大学院
人間総合科学研究科 教育学専攻(博士前期課程)
入学試験問題

受験番号	
------	--

専門科目(分野別)受験上の注意:

- (1) 全員が解答すること。
- (2) 解答は、別紙の解答用紙に記入すること。
- (3) 日本語で解答すること。
- (4) 用紙が不足する場合は、裏面を使用しても構わない。
但し、別の用紙を使用することは認めない。

専門科目 (学校経営学 分野)

(配点 100 点)

問1. 次の2つの用語について説明しなさい。

(1) 主任制

(配点 20 点)

(2) 学校財務

(配点 20 点)

問2. 学校経営学の学説について歴史的に論じたうえで、今後の課題について述べなさい。

(配点 60 点)

平成31年度 筑波大学大学院
人間総合科学研究科 教育学専攻(博士前期課程)
入学試験問題

受験番号	
------	--

専門科目（分野別）受験上の注意：

- (1) 全員が解答すること。
- (2) 解答は、別紙の清書用原稿用紙に記入すること。
(下書き用原稿用紙は下書きに利用する。)
- (3) 日本語で解答すること。
- (4) 用紙が不足する場合は、裏面を使用しても構わない。
但し、別の用紙を使用することは認めない。

専門科目（ 教育方法学 分野）

（配点 100 点）

問題

教育方法学に関する、次の2つの問いの両方に答えなさい。解答用紙のはじめに、(1)(2)をそれぞれ記入すること。

(1) 「総合的な学習の時間」の指導方法について、具体例をあげながら知るところを述べなさい。(50点)

(2) 授業におけるICTの活用方法について、具体例をあげながら知るところを述べなさい。(50点)

平成31年度 筑波大学大学院
人間総合科学研究科 教育学専攻(博士前期課程)
入学試験問題

受験番号	
------	--

専門科目（分野別）受験上の注意：

- (1) 全員が解答すること。
- (2) 解答は、別紙の清書用原稿用紙に記入すること。
(下書き用原稿用紙は下書きに利用する。)
- (3) 日本語で解答すること。
- (4) 用紙が不足する場合は、裏面を使用しても構わない。
但し、別の用紙を使用することは認めない。

専門科目（ 社会科教育学 分野）

(配点 100 点)

学習指導要領（平成 29 年及び 30 年告示）の社会科（地理歴史科・公民科）の目標に、新たに「…グローバル化する（国際社会において）…」という文言が付け加えられた。これと関連して、第一に、社会科（地理歴史科・公民科）はこの「グローバル化」という社会の変化によってどのような変革が求められるのかを述べなさい。第二に、「グローバル化」を念頭に置いて授業づくりを進めるにあたり、具体的にどのような工夫が考えられるのか、今日の社会科（地理歴史科・公民科）授業を批判的に検討しながら、あなたの考えを三点にまとめて述べなさい。

平成31年度 筑波大学大学院
人間総合科学研究科 教育学専攻(博士前期課程)
入学試験問題

受験番号	
------	--

専門科目（分野別）受験上の注意：

- (1) 全員が解答すること。
- (2) 解答は、別紙の清書用原稿用紙に記入すること。
(下書き用原稿用紙は下書きに利用する。)
- (3) 日本語で解答すること。
- (4) 用紙が不足する場合は、裏面を使用しても構わない。
但し、別の用紙を使用することは認めない。

専門科目（人文学教育学 分野）

(配点 100 点)

問題

話すこと・聞くことの力を育てる国語科の単元と、身に付けた話すこと・聞くこと
の力によって遂行する他教科の単元とを具体的に想定したうえで、以下の(1)(2)
に答えなさい。

- (1) 想定した単元に即して両者の共通点と国語科の単元の固有な点を述べなさい。
(50点)
- (2) 上記の国語科の単元の固有な点に関する現在の課題と、その解決のために有力
と考えられる国語教育研究の業績を、理由とともに挙げなさい。(50点)

平成31年度 筑波大学大学院
人間総合科学研究科 教育学専攻(博士前期課程)
入学試験問題

受験番号	
------	--

専門科目（分野別）受験上の注意：

- (1) 全員が解答すること。
- (2) 解答は、別紙の清書用原稿用紙に記入すること。
(下書き用原稿用紙は下書きに利用する。)
- (3) 日本語で解答すること。
- (4) 用紙が不足する場合は、裏面を使用しても構わない。
但し、別の用紙を使用することは認めない。

専門科目（ 数学教育学 分野 ）

(配点 100 点)

問 題

数学教育における今日的課題について、以下に示した5つの用語の中からいずれか1つを選び、その用語を用いて論じなさい。また、その課題の解決に向けて、数学教育研究によるどのような貢献が考えられるかについて、簡潔に述べなさい。

- 用 語：
- ・ 認識論的障害
 - ・ 数学的リテラシー
 - ・ 擬変数
 - ・ 類比的推論
 - ・ 数学的な見方・考え方

平成31年度 筑波大学大学院
人間総合科学研究科 教育学専攻(博士前期課程)
入学試験問題

受験番号	
------	--

専門科目(分野別)受験上の注意:

- (1) 全員が解答すること。
- (2) 解答は、別紙の清書用原稿用紙に記入すること。
(下書き用原稿用紙は下書きに利用する。)
- (3) 日本語で解答すること。
- (4) 用紙が不足する場合は、裏面を使用しても構わない。
但し、別の用紙を使用することは認めない。

専門科目 (高等教育論 分野)

問題

日本の大学は現在、進学率が50%を超え、マーチン・トロウ(1973)が提唱した、「ユニバーサル」段階を迎えている。この段階の特徴を、「エリート」段階や「マス」段階との比較の観点から、下記の語句を全て用いて説明せよ(語句は複数回使用可で、その順序は問わない)。

「学生の進学動機」, 「入学選抜の機能」, 「学生集団の性格」, 「カリキュラムと教育方法」

出典: Martin Trow (1973) "Problems in the Transition from Elite to Mass Higher Education",
Carnegie Commission on Higher Education, Berkeley, Calif.